

今日の主な活動：園庭遊び、年中長～節分の話し合い

＜節分 今年はどうする?＞

今年の節分をどのようにするか?年長2人を進行役に、去年のことを思い出しながら、年中長で話し合いました。意見がある人は手をあげて、進行役の人が当て、一人ひとりのアイディアをまとめていってくれました。子どもたちから沢山アイディアが出て、面白い話し合いになりましたよ!

**豆のこと**

「去年は一人二個持って投げて、拾ったけれど、少なくてケンカになった!」「じゃあ、沢山がいいね」「入れ物は?」「制作のコーナーで作ろう」「小さすぎると食べちゃうからね」「大きさはこの位」

**鬼のこと**

「オニとケンカしたした人がいた」「キックやパンチをしないで、豆でやっつけよう」「鬼をやりたい人、沢山いるから、やりたい人が集まって、どうやるか相談しよう」「お面と金棒を作ろう」「大人の鬼もいたらしいね」

**福の神のこと**

「いないと、悲しくなる人がいるし、豆を投げられないかもしれないからいた方がいい」「優しくて、ふざけない人がやる方がいいよね」「お面を作ろう、でも福の神ってどんな顔?」「天使みたいに被る(羽織る)物がいるかも?」

**守る人**

「去年は、守ってくれる人がいたから、いた方が年少さんを守れるね」「魚(イワシの頭)や葉っぱ(ヒイラギ)も作ったら」「豆も、守る人が作ったらいいよね。」

＜年長 歩くスキー＞



＜お兄さん＞

年少の人も自分より小さい人を気にかけ、優しく接する姿が見られるようになってきました。生活の様々な場面で異年齢の関わりがあり、関係も築けてきました。一人で遊ぶ小さい人を見つけ、気にかけています。ブランコの高さを調整したり、一人にならないように遊びに誘ったり、戦いごっこで負けてあげたり。小さい人が雪山から一人で降りられた時はとても優しい表情で拍手をしていましたよ。進級当初は見られなかった成長がたくさん見られ、見ている大人も温かい気持ちになりました。

